

## 対ジブチ共和国国別開発協力方針

2019年9月

### 1. 当該国・地域への開発協力のねらい

ジブチは、アジア・中東・アフリカ及び欧州を繋ぐ海上交通路に位置し、我が国が掲げる「自由で開かれたインド太平洋」を実現する上で重要なパートナーである。ジブチ港はエチオピア、南スーダンなど近隣内陸国の外港機能を担っており、ジブチは東アフリカにおける物流拠点となることを目指している。

さらに、ジブチは、不安定なアフリカの角地域において、2001年の和平達成以降国内情勢が安定していることから、米軍や仏軍をはじめとする各国軍を受け入れており、国際安全保障上の拠点として重要な役割を果たしている。ジブチ沖のアデン湾では年間約1800隻の日本関係船舶等が航行<sup>1</sup>しており、我が国も2009年からジブチを拠点として自衛隊を派遣し、ソマリア沖・アデン湾の海賊対処活動に貢献している。その他、ジブチは、アフリカ連合（AU）、アラブ連盟及びIGAD（本部：ジブチ）の加盟国であり、さらにアフリカ連合ソマリア平和維持部隊（AMISOM）への派兵等を通じてソマリアをはじめとする地域の和平プロセスに積極的に関与しており、地域の平和と安定のためにも重要な役割を担っている。

ジブチはこれまで地理的優位性に着目した港湾・物流等のサービス業の発展に注力しているが、その国土は狭小であり、自然環境も厳しく、競争力ある経済社会の確立及びその持続可能な成長、産業の多角化が課題となっている。地域の物流拠点を目指すジブチにとっては、周辺国との連結性向上、電力エネルギー等の経済社会インフラ強化、都市部と地方部の格差解消、若年層を中心に高止まりしている失業率の改善等が急務となっている。

これに対しジブチ政府は、「ジブチビジョン2035」という長期国家戦略をもとに、国民所得、失業率をはじめとする各種社会指標の大幅な改善を目標に各分野で取組を推進しており、各国等の支援・投資を得つつ、大規模なインフラ整備を進めている。

以上の状況を踏まえ、国際場裡における我が国の重要なパートナーであるジブチの経済社会開発分野における自助努力を支援することは、ジブチ国内の様々な課題解決を後押しするとともに、同国の国家基盤の強化を通じて東アフリカ地域の安定化及び地域経済の活性化、さらに、自由で開かれたインド太平洋の実現に貢献するものであり、支援の意義は大きい。

---

<sup>1</sup> 出典：2018年海賊対処レポート（内閣官房）

## 2. 我が国のODAの基本方針（大目標）：地域安定化に資する持続可能な経済社会開発への支援

東アフリカにおける安全保障及び物流の拠点としての役割を担っていくジブチの長期ビジョンの実現を後押しするため、経済社会基盤の強化を支援するとともに、経済成長を下支えする人材の育成を支援する。

### 3. 重点分野（中目標）：

#### （1）持続可能な経済成長に資する経済社会基盤強化

首都ジブチ市を中心とした近年の港湾・物流等の主要産業の発展により、環境への影響の懸念、電力エネルギー等のインフラ需要の急速な高まり、都市部と地方部の開発格差といった国内課題への対処が急務となっている。これらの課題を解決し、ジブチの社会的・経済的安定を確実なものとするために、産業インフラ整備や国民の基礎生活環境の改善を支援する。

#### （2）経済成長を下支えする人材の育成

基礎教育環境の整備等を通じて教育の質を向上させ、ジブチの持続的成長に寄与する人材育成を支援する。また、国内失業率の高止まり<sup>2</sup>という現状に鑑み、ジブチの産業多角化及び雇用機会増加に繋がる人材育成を支援する。

#### （3）地域の安定化努力支援

ソマリア等の周辺国の不安定な情勢に起因する海上犯罪（海賊、不法入国、密輸・密漁等）等の問題に対処するため、ジブチ政府の海上保安能力強化等の支援を実施する。また、アフリカの角地域における安定国として積極的な難民・移民受け入れ政策を展開するジブチ政府の努力を後押しするため、関連する国際機関及びNGO等と協力しつつ、難民・移民に付随する各種課題への対応に対する支援を行う。

### 4. 留意事項

本邦企業のジブチ進出や投資の促進を視野に入れつつ、効果的な開発協力を実施することに留意する。

（了）

別紙： 事業展開計画

---

<sup>2</sup> 2017年のジブチの国内失業率：47%（出典：世界銀行）